

科目名		産業保健管理学特論	
科目責任者	堀江正知	(産業保健管理学 教授)	
担当者	永野千景	(産業保健管理学 講師)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>わが国における法令やガイドラインの概要、事業場に普遍的に存在する温熱、騒音、重量物、化学物質等についてリスクアセスメントを推進する方法を理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 労働衛生関係法令が規定する内容と課題を概説できる。 2) 労働基準局が公表している職場の健康管理に関するガイドラインを概説できる。 3) 事業者が選任する産業保健専門職に期待される役割と実態について概説できる。 4) 産業保健専門職に特徴的な倫理について概説できる。 5) 産業保健専門職の事業場における立場とジレンマについて説明できる。 6) 労働安全衛生分野のリスクアセスメントの考え方や手法について概説できる。 7) 高温、騒音、重量物等の物理的要因に関するリスクアセスメントのあり方について概説できる。 8) 職場で広く利用される化学物質に関するリスクアセスメントのあり方について概説できる。 9) わが国における労働衛生政策の歴史、近年の改正、今後の課題を概説できる。 			
● 評価方法	検討会での討論 (50%)・発表・レポート(50%) 等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
労働法令の一般原則
労働衛生関係法令
労働衛生関係指針
労働衛生政策の歴史
労働衛生政策の改正と課題
労働衛生関連の紛争事案
国際的な産業保健に関する倫理指針
産業保健専門職の種類と役割
産業保健専門職の実態と課題
産業保健専門職の倫理ジレンマ
職場における危険有害要因(ハザード)
職場における労働衛生分野のリスクアセスメント
学術団体によるハザードアセスメント
職場におけるリスクアセスメントの実際
高温ストレス、騒音その他の物理的要因に関するリスク低減対策